

令和2年度
阿波市八幡小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎・基本の知識・技能を身につけさせるための指導の充実。
- ②考える力・書く力・話す力を育てるための指導の工夫。
- ③主体的・対話的・協働的に学び、思考力・表現力・実践力を育てるための授業改善。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進委員 坂本 紗智子	委員 校長：北尾秀昭 教頭：吉本美香 教務主任・低学年代表：篠原洋子 中学年代表：岡山千春 高学年代表：山田庸介 特別支援コーディネーター：富本みのり 学力向上推進講師：植原文明
--------------------	---

校長
北尾 秀昭

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

日々の情報共有、教室見学、研究授業等により取り組みを把握する。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取り組み)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや、計算力はある程度定着してきている。 ○ほとんどの児童が、家庭学習の時間が増えている。 ●語彙力に課題があり、読解力については個人差が大きい。	・漢字や計算など、基礎的基本的な知識や技能が定着し、楽しく学習に取り組むことができる児童。 ・いつも集中して学習に取り組むことができる児童。	・学習規律・学習習慣(八幡スタンダード)を徹底した授業実践を行う。 ・月に一度、漢字と計算のテストを実施し、基礎基本の定着を図る。 ・授業の始業終業時刻を守り、児童が集中して学べるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取り組み)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○理由や根拠を述べて発言できる児童が多くなってきている。 ●話を聞くことや、自分の考えや文章から読み取ったことを書くことについて課題がある。 ●既習事項を生活に活用しようとする児童が少ない。	・既習事項を生かして、課題に関して自分の考えが持てる児童。 ・学んだことを他教科や生活の中で活用しようとする児童。 ・授業の中で、自分の考えをまとめ筋道を立てて他者に伝えることができる児童。	・授業の中で自分で考える時間、友達と考え合う時間、全体で話し合う時間を十分に確保する。 ・授業での自分の考えや気づき・疑問などをわかりやすくノートにまとめさせる。 ・ICT 機器やホワイトボードを効果的に活用する。 ・友達が書いた作文に触れる機会を多くとる。 ・自分の考えを筋道立てて発表する場を確保する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取り組み)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習の習慣は定着しつつある。 ○与えられた課題には真面目に取り組む。 ○進んで読書をする児童が増加した。 ●家庭で読書をする時間が少ない。 ●自ら課題を見つけ、解決しようとする意欲はまだ低い。 ●めあてをもって自主学習に取り組む児童が少ない。	・授業のめあてに対してのまとめや振り返りを自分で考えてノートに書ける児童。 ・協働的に授業に参加してよりよい考えを求めようとする児童。 ・学校でも家庭でも、進んで読書に取り組む児童。 ・進んで自主学習に取り組む児童。	・めあての設定からまとめ、振り返りまでの児童主体の学習過程を確立する。 ・家庭学習の進め方オリエンテーションを実施する。 ・家庭読書の日を設定し、家庭で読書をする習慣を身につけさせる。 ・委員会活動で、児童主体の読書啓発を行う。 ・読書目標達成賞、自主学習賞を学期ごとに表彰し、自主的な読書や学習の意欲を高める。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

